



第70回社会を明るくする運動～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の子カラ～に向けて、内閣総理大臣メッセージを保護司会から平山町長が受け取りました (7/1 特別会議室)



SOMPOケア宇都宮様から防護服50着、フェイスシールド50個、布マスク350枚をいただきました (7/13 特別会議室)



「花いっぱいプロジェクト」。町内産の花を使用し、星久美子さん(湯本在住)が制作したフラワーディスプレイ(月に1回変更、展示は毎月中旬～下旬)を、本庁とゆめプラザ・那須で9月下旬まで展示しています。ご来庁の際は、ぜひご鑑賞ください (7/15 本庁町民ホール)



那須興業株式会社と株式会社白相酒造(那珂川町)のコラボした商品「NASU NO 46YASHIO(なすのしろやしお)」の販売開始の報告がありました。この商品は、那須ブランドに認定されている那須高原りんどう湖ファミリー牧場の「ジャージー飲むヨーグルト」を使用した那須産のヨーグルトリキュールです (7/14 特別会議室)

殺生石のしめ縄が新しくなりました

7月13日、湯本の歴史と伝説を案内するボランティア団体「那須高原湯本ガイドクラブ」が殺生石のしめ縄を張り替えました。しめ縄は、他の石と殺生石を区別して分かりやすくし、さらには伝説の「九尾の狐」の霊を鎮めて町の発展を願うため、同クラブが設置し毎年張り替えています。当日は朝9時から2時間かけて同クラブの9人で稲わらをよってしめ縄を作り設置しました。同クラブ会長は、「しめ縄用のわらを毎年確保してくれる平山重明さん(菱喰内)や那須温泉神社の協力で完成しました」と話してくれました。



講座「奥州街道と芦野宿」を開催



テーマ展「街道から鉄道へ～道の昔話～」(関連記事15頁)を開催中の那須歴史探訪館では、7月25日、同展の関連事業である講座「奥州街道と芦野宿」を開催しました。町内外に住む街道歩き愛好者で組織する「遊歩会」を主宰する講師の武田久義氏によれば、「建物は建て替えられても、現在の芦野の間口が狭く奥行きのある家並みは、芦野宿当時の様子を残している」と言います。大田原市から参加した男性は「知っているようで知らない地元、ふるさとを知る良い契機となりました」と話してくれました。